

ジェイアールバス東北本部

第24号

2023年3月24日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

23春闘



組合員・社員の切実な声！

バス東北本部は3月22日、2023年度賃金引上げ等に関する申し入れの第2回目の交渉を行いました。今回の交渉では、これまでバス本部に寄せられた組合員・社員の声を最大限訴えてきました。

①生活実感

- ◆住宅ローンに加え、光熱水費・食料品等の値上げでもう節約のしようがない。ベア1万円でもたりない。
- ◆急激な物価上昇で努力しても生活ができなくなる。会社として社員の生活を守ってほしい。
- ◆子供の給料より安いなんて、親として恥ずかしい。
- ◆家族に我慢をさせる生活はもうしたくない。
- ◆物価は上がるが給料は上がらず、このままでは生活が苦しくなる一方。
- ◆子供が進学を望めば、親として叶えてあげたい。
- ◆生きるために賃上げを。世の中の情勢をよく見てほしい。
- ◆物価高騰もう限界！賃上げを！！
- ◆光熱費が高すぎる！ガソリン高騰、風呂も入れない（灯油）
- ◆賞与が安定していないので、住宅ローンのやりくりが大変。
- ◆泊りダイヤが多く食事代がまならない。
- ◆社員の生活を持続可能なものにしてほしい！



②労働実感

- ◆コロナ禍で最大限の仕事量を担ってきた自負がある！
- ◆要員不足の中で勤務の増加も安全を最優先で懸命に働いている
- ◆家族を犠牲にしながら働いている。
- ◆要員不足のなかでも、列車代行輸送を担ってきた。
- ◆毎日60キロ通勤し、ジェイアールバスが好きだから我慢して今までやってこれたが、もう頑張ってきた気持ちが切れてしまいそう。
- ◆会社施策で転勤してきたのに生活が赤字。物価が上がりますます赤字。転勤者の負担が大きいのは納得いかない！
- ◆多くの乗客の命を預かり神経をすり減らしているのにこの対価。将来に夢を持てるような回答を。
- ◆長時間拘束、多すぎる泊り行路で家族の時間が持てない。もっと社員のことを見てください。

